

## 介護職員等処遇改善加算にかかる情報公開

介護職員の処遇改善につきましては、これまでに何度かの取り組みが行われました。

令和 6 年度の介護報酬改定においてそれまで 3 つに分かれていた処遇改善加算を一本化した「介護職員等処遇改善加算」が創設され、当事業所におきましても加算算定を行っております。

当該加算算定には下記の要件を満たしている必要があります。

(算定要件)

1. 月額賃金改善要件として、所定の加算額の 2 分の 1 以上を基本給又は決まって毎月支払われる手当の改善に充てること。
2. 任用要件・賃金体系の整備、研修の実施等、算定に必要なキャリアパス要件を満たしていること。
3. 職場環境等要件について、所定の区分に応じて複数の取り組みを行っていること。
4. 職場環境等の改善にかかる取り組みについて、処遇改善の具体的な取り組みの見える化を行っていること。

以上の要件に基づき、当事業所における職場環境等の改善にかかる具体的な取り組みについて以下のとおり公表します。

区分	内容
入職促進に向けた取組	事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の

	整備
	有給休暇が取得しやすい環境の整備
腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施
	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の習得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施
生産性向上のための業務改善の取組	業務改善活動の体制構築(委員会の立ち上げ、外部の研修会の活用等)
	現場の課題の見える化(課題の抽出等)の実施
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減
	介護ソフト、情報端末(タブレット端末)の導入
	業務内容の明確化と役割分担、間接業務における介護助手等の活用による介護職員がケアに集中できる環境整備
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供